

校報「にはやし」



能代市立朴瀬小学校

学校教育目標

「夢をいだし、強くたくましく生きる子どもの育成」

平成30年5月2日 No.7

今年も素敵な読み聞かせ「ホワイトブックス」さん来校 4月26日（木）

先週の木曜日、能代市立図書館ボランティア「ホワイトブックス」の方々が来校され、子どもたちに読み聞かせをしてくださいました。

上学年と下学年の二会場に分かれての開催でした。

それぞれの学年の子どもたちに合ったお話を選んで読んでくださいました。ボランティアの方々は、登場人物になりきって台詞を読んでくださったり、情景が伝わるように工夫して表現してくださったりして、表現の仕方も大いに勉強になりました。

中でも素晴らしかったのが、手作りの「大型紙芝居」です。（写真をご覧ください）お話の内容もおもしろかった上に大迫力で、とても心に残る読み聞かせでした。

能代市立図書館からは、本を100冊もお借りしました。学校には普段置いていない本もこれから読むことができます。

これを機会にまたたくさん読んでほしいと思いました。



【下学年の読み聞かせの様子 大型紙芝居では「いもころがし」を上演】



【上学年の読み聞かせの様子 大型紙芝居では「とまがしま」を上演】

連休中の「読書のすすめ」

読書は、登場人物の気持ちになって、普段の生活では経験できない世界を見たり、聞いたりできる場です。また、作者、筆者と向き合って対話できる場でもあります。

本を読むことで、自分の世界が広がります。

明日から、連休後半です。子どもたちにとって自由な時間が多くあることと思います。その自由な時間に少しでも「読書」をしていただければと思います。連休中に「読書の思い出」ができるといいですね。



自分のいのちを守るため「防犯教室」 5月1日（火）

5月1日、能代警察署の皆さん6名が来校され「防犯教室」を行ってくださいました。これは子どもたちが不審者から自分の命を守るための知識を身に付けるために、例年行っている教室です。

能代市では不審者事案は少ないのですが、「忘れた頃にやってくる」心配があります。また、子どもたちが能代市以外に外出した際に遭遇しないとも限りません。

警察の方からきちんとした知識を教えてもらうことは、子どもたちの命を守るためにとっても大切なことです。今年も、大変分かりやすく教えていただきました。

不審者の被害から身を守るための「いかのおすし」※については、子どもたちは、これまでもしっかり学んでいたもので、よく覚えていました。



【熱心に話を聞く子どもたち】

※ いかのおすし ・ついていかない ・知らない人の車にのらない ・おおごえでさげぶ
・すぐにげる。 ・しらせる。

今年にはさらに不審者かどうか行動で見分ける、「はちみつじまん」※についても教えていただきました。知らない人で、こんな人がいたら注意しようというポイントです。

※ はちみつじまん こんな人はいたら、気を付けよう！
はなしかけてくる人 ちかづいてくる人 みつめてくる人 ついてくる人
じっと まっている人 ん?大丈夫かな

知らない人が自分に対してこのような行動をされていて「ん？」と思ったら、その場を立ち去ることが大切です。

また、不審者に遭わないための3つのポイントも話してくださいました。

- 明るい道・広い道を通ろう。
- 周りをよく見て行動しよう。
- 一人にならないようにしよう。



最近「登下校」時だけではなく、保護者と共に「大型店」へ出かけたときに不審者に遭遇することも多いそうです。（子どもだけでトイレに行ったとき、子どもだけで店舗内を歩いているとき、など秋田県内でも報告されています。）警察署の方から、「お出かけするときには保護者の人から離れないで」と話されました。お家の方もお子さんの動向に気を付けていただきたいと思います。

講義を聞いた後は、警察署の方々とダブルダッチをしました。「いかのおすし」のキーワードを話して、なわとびを行いました。みんな頑張って跳んだので、警察署の皆さんも感心していました。

「自分のいのちを守るため」の「いかのおすし」、「はちみつじまん」、それとネット利用を正しく行うこと等、たくさんのことを学んだ時間でした。

連休後半も学んだことを生かして楽しく安全なお休みを過ごしてほしいと思います。



【質問に手をあげて答える】



【キーワードを話して、なわを跳びます。去年よりレベルアップ!】

